

第5回熊本県半導体エコシステム形成産学官連携推進会議 議事概要

【日 時】令和7年（2025年）3月10日（月）～3月14日（金）

【形 式】書面開催

【委員一覧（敬称略）】

所属機関・企業	役 職 等	氏 名
熊本県	知事	木村 敬
国立大学法人熊本大学	学長	小川 久雄
熊本市	経済観光局長	村上 和美
株式会社野田市電子（一般社団法人 熊本県工業連合会）	代表取締役社長	野田 珠実
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社	副社長兼熊本 TEC 長	山下 満
熊本高等専門学校	校長	高松 洋
株式会社肥後銀行	産業イノベーション推進部長	高濱 豊
株式会社熊本銀行	ソリューション営業部長	上野 仁敬
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社	主席研究員	吉本 陽子
学校法人赤山学園九州技術教育専門学校	理事長	赤山 聖子

【議事概要】

（1）共同研究教育プログラム実施に伴うKPIの新設について

共同研究教育プログラム実施に伴うKPIの新設について、委員全員から承認された。

（2）本交付金事業の進捗状況等について

本交付金の取組みや進捗状況等について、下記のとおり意見等があった。

- ・ 令和7年度入学試験の志願倍率から、半導体分野への学生の関心の高さが伺える。
- ・ 人材育成の更なる活性化を促していくため、今後、本事業による実績や成果などの情

報発信に努めて頂きたい。その際、トップレベル人材の招聘における研究ディスカッション及びセミナー、リサーチアシスタントシップ等の実績や成果の詳細を広く共有して頂きたい。

- ・ 県内企業との共同研究プロジェクト創出製品数や連携教育プログラム入学者数のKPIについては、最終的な目標値の達成に向けて着実に取組を進めてほしい。
- ・ 大学改革・人材育成部会、くまもと3D連携コンソーシアム、研究開発・プロジェクト推進部会ともに、予定通り進んでいることが確認できた。特に、半導体デバイス工学課程、情報融合学環の入試の志願倍率が高かったことは、より優秀な学生が熊本大学を目指すことに繋がりそうで良かったと思う。
- ・ 取り組みや進捗について特段の問題はなく、計画どおり進めていると思う。特に、熊本大学と高専（熊本、久留米）との連携を含めた半導体領域の人材育成には大いに期待している。
- ・ KPIに関しては、達成、または大幅に達成しており、高く評価できる。熊本県全体の関心の高さも功を奏していると感じた。
- ・ 大学改革がスピーディーに進んでいるのは、関係者の尽力の賜物だと思う。熊本県で育てた人材が、県内の半導体関連産業で活躍することを期待する。
- ・ 高専との連携教育プログラムは魅力的な制度だと感じた。次年度の共同研究教育プログラムが順調に進み、単位互換などの制度につながることを期待する。

以上